

弟子屈町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月10日設置



弟子屈町

概要

弟子屈町は、摩周湖、屈斜路湖等の景勝地を有し毎年多くの観光客が訪れるが、通過型観光が主流であるとともに、その多くがマイカーを利用するため、排気ガスによる自然環境への負荷が懸念されている。このため、自然環境の保護と観光振興の両立、滞在型観光への転換を目指し、摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バスの運行、循環バスの導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR釧網本線(南弟子屈駅、摩周駅、美留和駅、川湯温泉駅)
- ・(株)阿寒バス(地域4路線、観光3路線※期間運行)
- ・スクールバス(3本)

○地域公共交通の課題

- ・観光客のマイカーによる環境負荷の増大
- ・通過型観光
- ・観光客向けの2次交通の欠如
- ・マイカー依存型の生活交通

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バス運行の試験実施
- ・川湯・屈斜路地域における循環バスの試験運行
- ・市街地における循環バスの試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・摩周湖周辺におけるマイカー規制・代替バスの運行の検討
- ・川湯・屈斜路地域における循環バスの導入の検討
- ・弟子屈市街地における循環バスの導入の検討

